

++++
◇公開シンポジウム「世代の知をつなぐ地方創生とイノベーション」の開催について(ご案内)

◇日本学術会議公開シンポジウム「総合工学シンポジウム2016 知の統合を如何に達成するか - 総合工学の方向性を探る -」開催のお知らせ
++++

■
公開シンポジウム「世代の知をつなぐ地方創生とイノベーション」の開催について(ご案内)

地方創生のかげ声の下、地域産業の競争力強化による地方の活性化、さらには、その中心となる「ひと」の地方への集積を目的とした「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」が推進されている。また、第5期科学技術基本計画の4本の柱のひとつに、企業・大学・公的研究機関の本格的連携とベンチャー企業の創出強化等を通じたイノベーションを生み出すシステムの構築が挙げられており、「地方における産官学連携によるイノベーション創出」は、わが国全体の活性化において重要な意味を持つものと考えられる。ただし、これらの取り組みは、一朝一夕に結果が出るものではないため、長期的ビジョンを共有した世代間連携により、持続的に推進されるべきである。本シンポジウムでは、愛媛における地方創生とイノベーションに焦点をあて、産官学の協働と10年後を視野に入れた展望を議論する。

◆主 催：日本学術会議若手アカデミーイノベーションに向けた社会連携分科会、若手アカデミー運営分科会

◆共 催：愛媛大学

◆日 時：平成28年7月26日(火) 13:30~16:30

◆会 場：愛媛大学 南加記念ホール

◆プログラム

総合司会：高山弘太郎(日本学術会議連携会員、
愛媛大学大学院農学研究科准教授)

13:30 【シンポジウムの開催にあたって】

吉田丈人(日本学術会議連携会員、
東京大学総合文化研究科広域システム科学系准教授)

13:35 【開会の挨拶】

大橋裕一(愛媛大学長)

13:45 【基調講演】

「地域産業イノベーションの創出 - 地域創生への愛媛大学の取組 -」
仁科弘重(愛媛大学 理事・副学長・社会連携推進機構長、
植物工場研究センター長、大学院農学研究科教授)

【事例紹介】

14:10 事例1 [学術] 「地域産業における産学連携~紙産業の事例から~」

内村浩美(愛媛大学 紙産業イノベーションセンター長、
大学院農学研究科・社会共創学部教授)

14:25 事例2 [学術] 「産学官連携による機能性食品開発」

菅原卓也(愛媛大学大学院農学研究科附属食品健康科学研究センター長、
大学院農学研究科教授)

14:40-14:50 休憩

14:50 事例3 [行政] 「愛媛県の取り組み」

関口訓央（愛媛県経済労働部産業支援局長）

15:05 事例4 [行政] 「産学官連携で実現する『地域創生』のまちづくり」
大久保武（西条市企画情報部地域創生室総合6次産業都市推進係長）

15:20 事例5 [民間] 「地方における農業ICTによる起業」
遠藤 忍（(株)テレファーム 代表取締役）

15:35 事例6 [民間] 「産学連携による植物生育診断装置の開発」
岡田英博（井関農機(株)先端技術部主幹）

15:50 【パネルディスカッション】

司会：吉田丈人（日本学術会議連携会員、
東京大学総合文化研究科広域システム科学系准教授）

パネラー：講演者と学術会議若手アカデミー会員

16:20 【閉会の挨拶】

狩野光伸（日本学術会議連携会員、
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 副研究科長・教授）

16:30 閉会

* 事前申し込み要。参加費無料。

○参加申込HP

<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~sympo3/mpmaillec/form.cgi>

○シンポジウムポスター

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/229-s-0726.pdf>

日本学術会議公開シンポジウム「総合工学シンポジウム2016 知の統合を如何に達成するか - 総合工学の方向性を探る -」開催のお知らせ

◆日時：2016年7月20日（水） 13:00～17:00（受付開始12:30）

◆会場：日本学術会議 講堂（東京都港区六本木7-22-34）

◆参加費：無料

<プログラム>

13:00-13:10 開会挨拶

花木 啓祐（日本学術会議副会長、東京大学大学院工学系研究科教授）

第I部

13:10-14:00 基調講演 構成科学としての工学（設計科学）

吉川 弘之（日本学術会議栄誉会員、JST 特別顧問）

14:00-14:30 「知の統合」と「知の統合学」をめざして

舘 暲（東京大学名誉教授）

14:30-14:40 休憩

14:40-15:10 情報学から見た工学分野の融合について

喜連川 優（日本学術会議第3部会員、国立情報学研究所所長）

15:10-15:40 東日本大震災後の被災地支援研究

似田貝 香門（東京大学名誉教授）

15:40-15:45 休憩

第II部—パネル討論 15:45-16:55

ファシリテータ：吉村 忍（日本学術会議連携会員、東京大学大学院工学系研究科副研究科長）

パネリスト：

奥村 次徳（日本学術会議連携会員、東京都立産業技術研究センター理事長）

リーディング大学院“オールラウンド型”の成功事例から

大倉 典子（日本学術会議連携会員、芝浦工業大学工学部教授）

かわいい人工物の系統的解析の視点から

狩野 光伸（日本学術会議特任連携会員、同若手アカデミー副代表、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授）

医工連携及び文理融合プロジェクトの経験をもとに

瀬山 倫子（日本学術会議連携会員、同若手アカデミー委員、NTT先端集積デバイス研究所主幹研究員）

ICT 向けものづくり産業の視点から

16:55-17:00 閉会挨拶

渡辺美代子（日本学術会議第3部会員、科学技術振興機構副理事）

◆申込要領：

必要事項（氏名・所属・電話番号・E-mail アドレス）をご記入の上、7月18日までに総合工学シンポジウム事務局（以下のURL）までお申し込みください。

XXXX@XX.XX

会場での当日受付も承っておりますが、スムーズな受付作業のためご協力ください。

<http://save.sys.t.u-tokyo.ac.jp/sogo2016-symp/>

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@xxx_xxxx です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できませんので、あらかじめご了承ください。本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34